

しょうご

しょうごう

正語 正業

正思唯の後に生ずる語業と身業である。

水野弘元著『仏教の基礎知識』春秋社

正語は、正しい言葉をつかうのであるが、これは、やさしい言葉づかい、慈愛の心から発する言葉をいう。言葉はこころのあらわれであって、うそ・いつわり・むだぐち・悪口などはやめて正しい言葉をつかうことをいう。

正業の業は、行いである。正しい人間関係は、殺生しない、盗みをしてない、男女間の不倫な行いをしないなど、社会生活を明るくもつとする根本となる。

曹洞宗教学部『仏教読本1』曹洞宗宗務庁

両極端に偏ることなく、正しくないことをしないようによく気をつけ、正しい言葉、正しい行いをする。